
アプリケーション理解

Excel VBA

【目次】

スピントタンで年月日を入力する	3
年月日入力のスピントタンを配置.....	3
日付変更サブルーチンを作成する.....	3
まず年の移動を試みよう.....	4
月、日も増減を試みよう	5
売上入力に日付を追加しよう.....	6

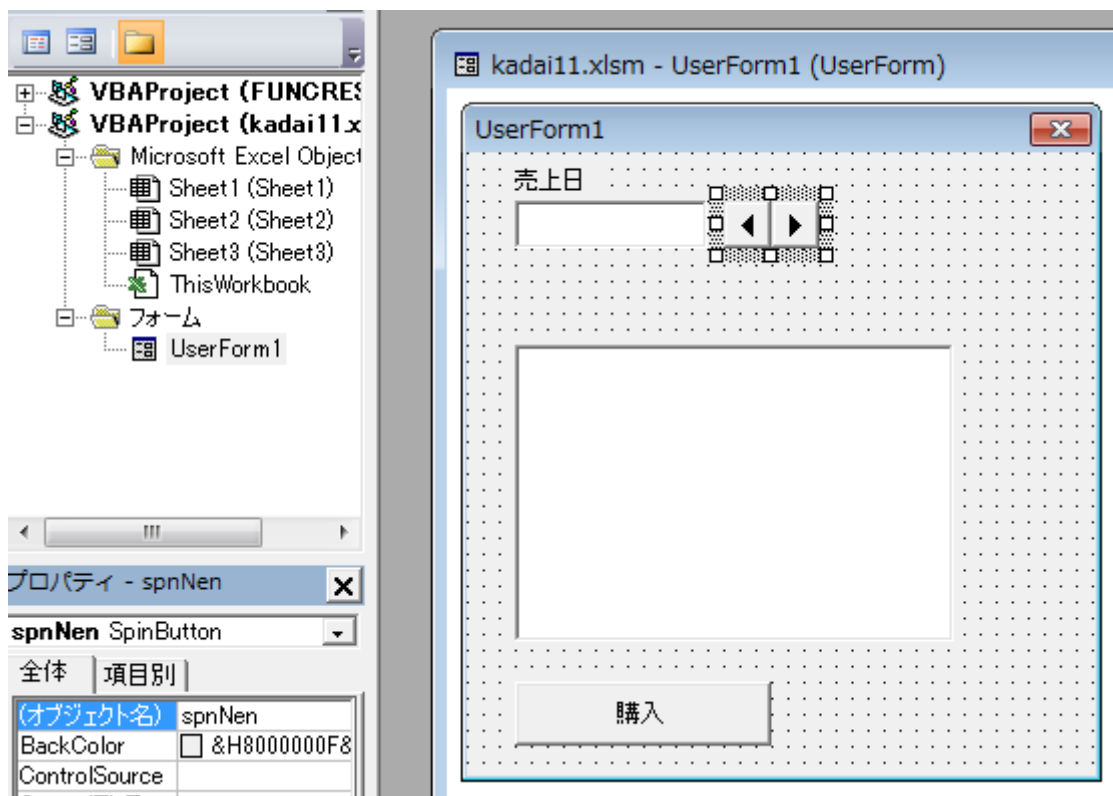
スピントランで年月日を入力する

商品名と価格が入力できたら、もう少し改造して見ましょう。まずは、日付を入力します。ただ、手入力に入れるのではなく、スピントランというデータの数値を上下できるツールを使ってみましょう

年月日入力のスピントランを配置

ラベルとテキストボックス、そしてスピントランをフォームに配置します。元のリストボックスとコマンドボックスは下に移動します。

テキストボックスのオブジェクト名は txtHiduke にします。



スピントランは横長にすると、ボタンが横に並びます。そしてスピンのオブジェクト名を spnNen にします。これはスピンの年のもとという意味です。

同様に spnTuki, spnHi とスピントランを3つ並べます。

日付変更サブルーチンを作成する

日付の変更は年、月、日の増減があります。それぞれを別に作るとバグが発生します。そこで、日付の増減を一つにまとめて作成します。

```

Sub DateUpDown(Tani As String, Zougen As Integer)
    Dim Mydate As Date
    If IsDate(txtHiduke.Text) = True Then
        Mydate = DateAdd(Tani, Zougen, txtHiduke.Text)
        txtHiduke.Text = Format(Mydate, "yyyy/m/d")
    Else
        txtHiduke.Text = Format(Date, "yyyy/m/d")
    End If
End Sub

```

Tani は単位で、yyyy が年、mが月、d が日を表します。Zougen 増減は、1 が次、-1 が前の日付を表します。

これで、現在の日付 (txtHiduke)の内容も文字列に、単位の日付を増減して、日付変数の値を取得します。その日付を Format 関数で yyyy/m/d のフォーマットにして再表示します。

まず年の移動を試みよう

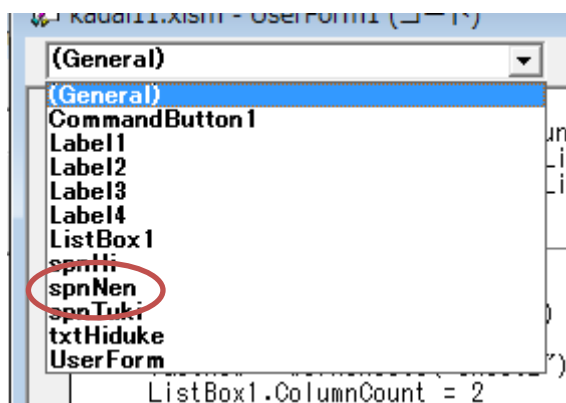
まずは、年の初期値を入れましょう。これは本日にします。UserForm1_Initialize に初期化の部分を追加します。(赤字の部分)

```

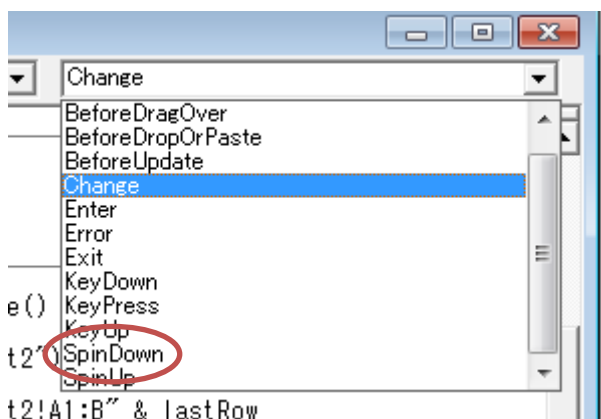
    ListBox1.ColumnCount = 2
    ListBox1.RowSource = "Sheet2!A1:B" & lastRow
    txtHiduke.Text = Format(Date, "yyyy/m/d")
End Sub

```

では、年から増減の実験をしてみましょう。ソースコードを表示して、その左上のコンボボックスから spnNen を選びます。



そして、続いて、右上のコンボボックスから spinDown を選びます。



これで、年の減算のモジュールができるので、そこで先ほど作ったサブルーチンを呼び出します。

```
Private Sub spnNen_SpinDown()  
    DateUpDown "yyyy", -1  
End Sub
```

では実験してみましょう。年が1年ずつ減っていけば OK です。

月、日も増減してみよう

spinUp では、-1 の部分が 1 になります。

```
Private Sub spnNen_SpinUp()  
    DateUpDown "yyyy", 1  
End Sub
```

では、同様に月もやってみましょう。

```
Private Sub spnTuki_SpinDown()  
    DateUpDown "m", -1  
End Sub  
  
Private Sub spnTuki_SpinUp()  
    DateUpDown "m", 1  
End Sub
```

同様に日もやってみましょう。

```
Private Sub spnHi_SpinDown()
```

```
    DateUpDown "d", -1
```

```
End Sub
```

```
Private Sub spnHi_SpinUp()
```

```
    DateUpDown "d", 1
```

```
End Sub
```

spn***_Change()もできますが、これは消しておきましょう。

売上入力に日付を追加しましょう

今は全部 Sheet1 の 1 行目に出力していますが、これを改造して、みましょう。

	A	B	C	D	
1	城西高校購買部販売記録				
2	日付	品名	価格		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					

```
Private Sub CommandButton1_Click()  
    Dim lastRow As Integer  
  
    If ListBox1.ListIndex <= 0 Then Exit Sub  
  
    With Sheets("sheet1")  
        lastRow = .Cells(Rows.Count, 1).End(xlUp).Row + 1  
        .Range("A" & lastRow) = txtHiduke.Text  
        .Range("B" & lastRow) = ListBox1.List(ListBox1.ListIndex, 0)  
        .Range("C" & lastRow) = ListBox1.List(ListBox1.ListIndex, 1)  
    End With  
End Sub
```

これで、選択して購入とすれば日付も増えていきます。